



中期経営計画（第2期） （2022年度～2026年度）

**「文化・スポーツで、
人々の心と体に健康を！」**

公益財団法人守山市文化体育振興事業団





目 次

I	策定の趣旨	・ ・ ・ ・ 1
II	第1期の振り返り	
1	第1期の取り組み	・ ・ ・ ・ 2
2	各施設の数値目標達成状況	・ ・ ・ ・ 3
3	事業団を取り巻く現状と課題	・ ・ ・ ・ 4
III	第2期中期経営計画	
1	計画期間	・ ・ ・ ・ 6
2	基本理念	・ ・ ・ ・ 7
3	重点施策	
(1)	文化とスポーツによる心と体の健康の実現	・ ・ ・ ・ 9
(2)	誰もが文化とスポーツを体験できるための取り組み	・ ・ ・ ・ 9
(3)	守山市の魅力の発見と情報の発信	・ ・ ・ ・ 10
(4)	次世代を育てる取り組み	・ ・ ・ ・ 11
(5)	各種団体との連携とまちづくりへの貢献	・ ・ ・ ・ 11
(6)	施設の貸し出しと安全管理	・ ・ ・ ・ 12
IV	収支計画	・ ・ ・ ・ 12
V	計画の推進に向けて	
1	計画の進行管理	・ ・ ・ ・ 14





- 2 組織体制と人材育成 14
- 3 寄付金の受け入れおよび自主財源の確保 14
- 4 社会経済情勢の変化への的確な対応と業務品質の向上 14
- 5 各施設の数値目標 15



I 策定の趣旨

公益財団法人守山市文化体育振興事業団（以下、「事業団」という。）は守山市市民文化会館の建設を契機に、それまで市の直営であった守山市民運動公園（昭和 52 年開設）と併せ両施設を管理運営する財団法人として昭和 61 年に設立されました。文化・スポーツの有機的な連携のもと、合理的な運営を目指し「広く市民の文化、スポーツの振興と活力ある地域社会の創造に寄与する」という設立目的に沿った事業活動を行ってきました。

平成 24 年度からは公益財団法人に移行し、現在事業団は、守山市市民文化会館（市民ホール）、守山市民運動公園に加え、平成 23 年度からは野洲川歴史公園サッカー場（ビッグレイク）、令和元年度からは大庄屋諏訪家屋敷（諏訪家屋敷）の 4 つの公共施設を指定管理者として取り組む団体となりました。民間的経営手法により効率的な維持管理運営と多彩な事業を行うことによって市民サービスの向上や利用者の満足度を高めるとともに、地域の活性化に寄与してきました。

事業団の活動分野である歴史を含めた文化・スポーツは、人々の暮らしに潤いを与え、豊かな心と感性を育み、健康にするだけでなく、人と人を結びつけ、勇気づけ、生きる力を生み出します。事業団の持つ専門性を発揮することで文化・スポーツの持つ力を最大限に活かし、それが守山市の教育、健康・福祉、医療、環境、まちのにぎわい、産業、食文化などと一体になり、第 5 次守山市総合計画で目指す『わ』で輝かせようふるさと守山の実現につながるものと確信します。

また、第 1 期中期経営計画では、設立以来事業団が培ってきたノウハウと、計画作成当時の事業団の取り巻く環境をもとに、公平・公正、地域の活性化、組織の安定的な運営を軸に作成いたしました。しかしながら現在の日本では、少子高齢化、所得格差、インフラの老朽化、自然災害、とりわけ新型コロナウイルス感染症問題などが人々を孤立化させ、心と体の健康が損なわれています。

そこで、第 2 期中期経営計画では、文化・スポーツを併せ受け持つ事業団としてこれまでの施設の管理運営にとどまらず、さらに今、何が出来るのか、何をすべきなのかを改めて考え直し、事業団を取り巻く環境や時代がもたらす課題に対応できるよう 3 つの基本理念と 6 つの重点施策を計画の軸に据え取り組みを行います。

事業団は、「文化・スポーツで、人々の心と体に健康を！」をメインテーマに、今後の進むべき方向を定めた基本方針に沿った事業活動を行うとともに、組織の安定的な運営を実現していくため、ここに中期経営計画を策定します。

以下、施設名称について愛称名のある施設は愛称名で表記します。

守山市民文化会館	→	市民ホール
守山市民運動公園	→	市民運動公園
野洲川歴史公園サッカー場	→	ビッグレイク
大庄屋諏訪家屋敷	→	諏訪家屋敷

今後の 5 ヶ年計画について、新型コロナウイルス感染症や社会情勢などの影響により大きな変動があれば、計画の見直しを随時行います。





Ⅱ 第1期の振り返り

1 第1期の取り組み

市民ホールは、守山市文化振興アクションプランを基に、市民誰もが文化芸術に関わり、憩い、癒し、生きがいを体感できるよう多様な事業展開を行ってきました。

特に重点的に取り組んだのは「ルシオール」ブランドの定着化です。市主催の「ルシオール アート キッズフェスティバル」に加え、子どもたちを対象とした「ルシオール AKF 秋色」、クラシックの実演と講座を交えた「ルシオール音楽塾」、市内の各所に出向いて演奏会を行う「ルシオール街かどコンサート」、実力のあるアーティストを招聘して実施する「ルシオールリサイタル・アンサンブルシリーズ」など、クラシック音楽を中心に「ルシオール」のブランド化を推進してきました。また、市民に親しみやすく、身近に感じられるようにテーマキャラクターとして「ルーチ」と「オーレ」をPR用に作り、オリジナルで特色ある事業へと発展しました。

市民ホールで目標値として掲げていた利用者数、施設利用率、自主事業参加者数については、1期中の最高値と目標値を比べると利用者数は達成できませんでしたが、利用率と自主事業参加者数については目標を達成できました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり令和2年度と3年度は減少傾向となっています。

市民運動公園およびビッグレイクは、守山市総合型地域スポーツクラブと連携を図りながら、守山市スポーツ推進計画に基づき『「まちづくり・健康づくり・仲間づくり」・「ひとづくり」・「環境づくり」』を目的として一人でも多くの市民がスポーツに関わり楽しむことができる事業展開を行ってきました。具体的には、子どもたちに夢を与える事業として数々のプロスポーツ選手との交流事業や、教室事業を実施しました。また、プロバスケットボールBリーグに所属する滋賀レイクスターズやプロ野球独立リーグBCリーグに所属するオセアン滋賀ブラックスのホームゲームを特別共催で行い、地元のプロチームの応援と裾野を広げる活動に貢献しました。その他オリンピック競技を取り上げた教室や、星空観測教室や凧揚げ教室などユニークで独自性のある事業にも積極的に取り組みました。

市民運動公園では、平成29年度に人工芝テニスコートがオープンし、利用者数も大幅に増えましたが、市民運動公園、ビッグレイクで目標値として掲げていた利用者数、施設利用率、自主事業参加者数について、年度によっては達成できた部分もあるものの、市民運動公園については施設利用率が、ビッグレイクについては利用者数と自主事業参加人数が未達成となっています。市民ホール同様に新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減少となっています。

令和元年度から指定管理者として受託している諏訪家屋敷は、日本遺産、市指定文化財である歴史文化施設であることから、管理に万全を期すとともに、地域に愛され、来訪者をおもてなしする施設として、多くの市民が気軽に訪れ、地域の歴史や暮らしなどを学べるような様々な自主事業を行いました。また、特色のある事業としましては諏訪家屋敷の季節の趣を感じていただける「五月人形展」や「半夏生鑑賞会」、参加型事業として「新春書初め大会」や「朱印状初めて講座」、市民ホールと共同で行う「怪談ライブ」「ほたる寄席」など、諏訪





家屋敷ならではの事業に取り組んできました。

2 各施設の数値目標達成状況（太字・・・達成、通常・・・未達成）

市民ホール	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	目標値
利用者数	229,599 人	227,233 人	228,442 人	75,446 人	—	265,000 人
自主事業 参加人数	51,693 人	50,861 人	61,055 人	6,130 人	—	40,000 人
施設利用率	85.0%	84.1%	75.6%	54.3%	—	70%以上

市民運動公園	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	目標値
利用者数	186,703 人	175,811 人	217,109 人	107,676 人	—	213,000 人
自主事業 参加人数	23,158 人	18,704 人	26,275 人	3,423 人	—	20,000 人
施設利用率	64.0%	70.5%	71.4%	58.9%	—	75%以上

ビッグレイク	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	目標値
利用者数	115,725 人	115,872 人	118,922 人	104,724 人	—	120,000 人
自主事業 参加人数	3,386 人	3,425 人	2,253 人	1,842 人	—	4,500 人
施設利用率	81.4%	79.3%	82.1%	79.4%	—	82%以上





3 事業団を取り巻く現状と課題

(1) 文化をめぐる動向

国においては、平成 29 年 6 月に「文化芸術振興基本法」が改正され、文化芸術そのものの振興に加え、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業など幅広い分野における施策を法律の範囲に取り込み、総合的に施策を推進することとされ、法律名も「文化芸術基本法」と改められました。

また、令和 2 年から始まり、今もなお続く新型コロナウイルス感染症の文化芸術活動に対する影響は大きく、施設の休館、活動の休止などを余儀なくされましたが、孤立や分断の中にある市民からは、文化芸術が持つ人々をつなぐ力に対する期待も高まっています。

一方、平成 30 年に改正された「文化財保護法」では、未指定を含めた文化財をより積極的にまちづくりに活かす方向が示されました。また、平成 30 年には諏訪家屋敷が日本遺産に認定されています。これらの法改正などを受け、文化財を積極的にまちづくりに活かすとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を克服した文化芸術の新しい活動を模索することが求められています。

(2) スポーツをめぐる動向

国においては、平成 29 年 3 月に「スポーツ基本法」に基づく「第 2 期スポーツ基本計画」を策定し、目指す方向性を「スポーツで人生が変わる、社会を変える、世界とつながる、未来を創る」という 4 つの観点で「一億総スポーツ社会」の実現に取り組む方針が提示されました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多数の人が集まる大会等の多くが中止され、開催される場合も、無観客や観客数制限下での規模縮小を余儀なくされました。このような中、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが 1 年遅れで開催され、極限を追求するアスリートの姿がコロナ禍で疲弊する人々に多くの感動を与え、改めてスポーツは多くの感動と活力を与え、社会の絆を強めるものであることが示されました。

今後、ワールドマスターズゲームズ関西（令和 4 年の開催は延期決定。時期は未定。）、令和 7 年度には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催される予定であり、その実施や盛り上げに事業団が大きな役割を果たすことが期待されています。

(3) 守山市のまちづくりへの寄与

守山市では、「守山市文化振興アクションプラン」を策定し、恵まれた自然環境の中で、文化芸術の担い手となる市民、文化芸術団体、企業、行政が「住みやすさ日本一」「文化芸術あふれるまち」の実現を目指しています。

スポーツにおいては、『誰もが』『どこでも』『いつまでも』レッツスポーツ！～『健康元気なまち』をめざして～』を基本理念として、「第 3 期守山市スポーツ推進計画」が令和 4 年 3 月に策定されました。この計画では、成人各世代の週 1 回以上のスポーツや運動の実施率 65%以上を目標としています。





また、守山市は総合型地域スポーツクラブが1学区に1クラブ設立されましたが、いかに学区の特性を活かした活動ができるかが課題となっています。

文化とスポーツの両分野で守山市の発展を支える事業団は、文化とスポーツの相乗効果を活かしながら、教育、福祉、医療、環境、産業、観光、国際交流など多方面の団体と連携、協力し、まちづくりの一翼を担う重要な団体として貢献することが期待されています。

(4) 経営環境の変化

国や自治体の財政環境の悪化、民間企業との競合、更には新型コロナウイルス感染症への対応など、非営利の公益活動を行う事業団経営を取り巻く状況は、今後さらに厳しくなると思われ、自主財源の確保に向けた新たな取り組みが必要となります。

また、パソコンやスマートフォンの普及により、インターネットやソーシャルネットワークサービス（SNS）時代が到来し、コミュニケーションの方法も多様化し、文化・スポーツともにその表現や鑑賞も多様化していくと考えられ、それらのニーズに的確に対応することが求められています。

(5) 施設・設備の更新

市民ホール、市民体育館とも施設の老朽化が深刻化しており、特に昨今豪雨による雨漏れなど、各設備のトラブルや故障が多発しています。

守山市では「守山市公共施設等総合管理計画」をもとに、施設の適切な管理が進められていますが、管理運営を行う事業団としては、的確な報告や提案を行いつつ守山市と連携を図りながら施設・設備の整備や修繕を積極的に取り組む必要があります。





Ⅲ 第2期中期経営計画

1 計画期間

2022年度から2026年度まで（5年間）

今後5年間の予定および主なイベント

2022年度 市民体育館開館45周年

2023年度 指定管理終了年（市民ホール、市民運動公園、諏訪家屋敷）
ワールドマスタースゲームズ関西（2022年開催は延期決定。時期は未定。）

2025年度 指定管理終了年（ビッグレイク）
市民運動公園開園50周年
ビッグレイク開館20周年
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催予定

2026年度 事業団設立40周年
市民ホール開館40周年





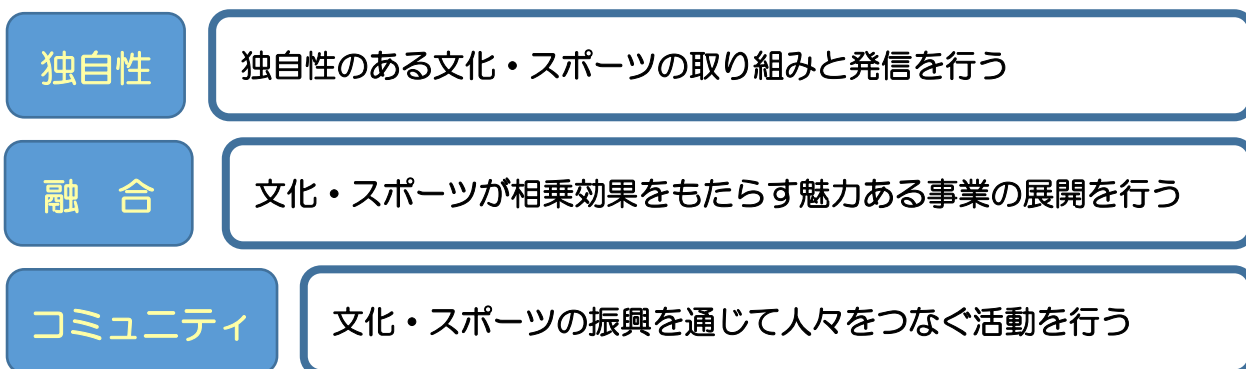
2 基本理念

施設の管理運営に留まらず、「独自性」「融合」「コミュニティ」を3つの基本理念とし、更に6つの重点施策を実行することで、メインテーマの具現化を目指します。

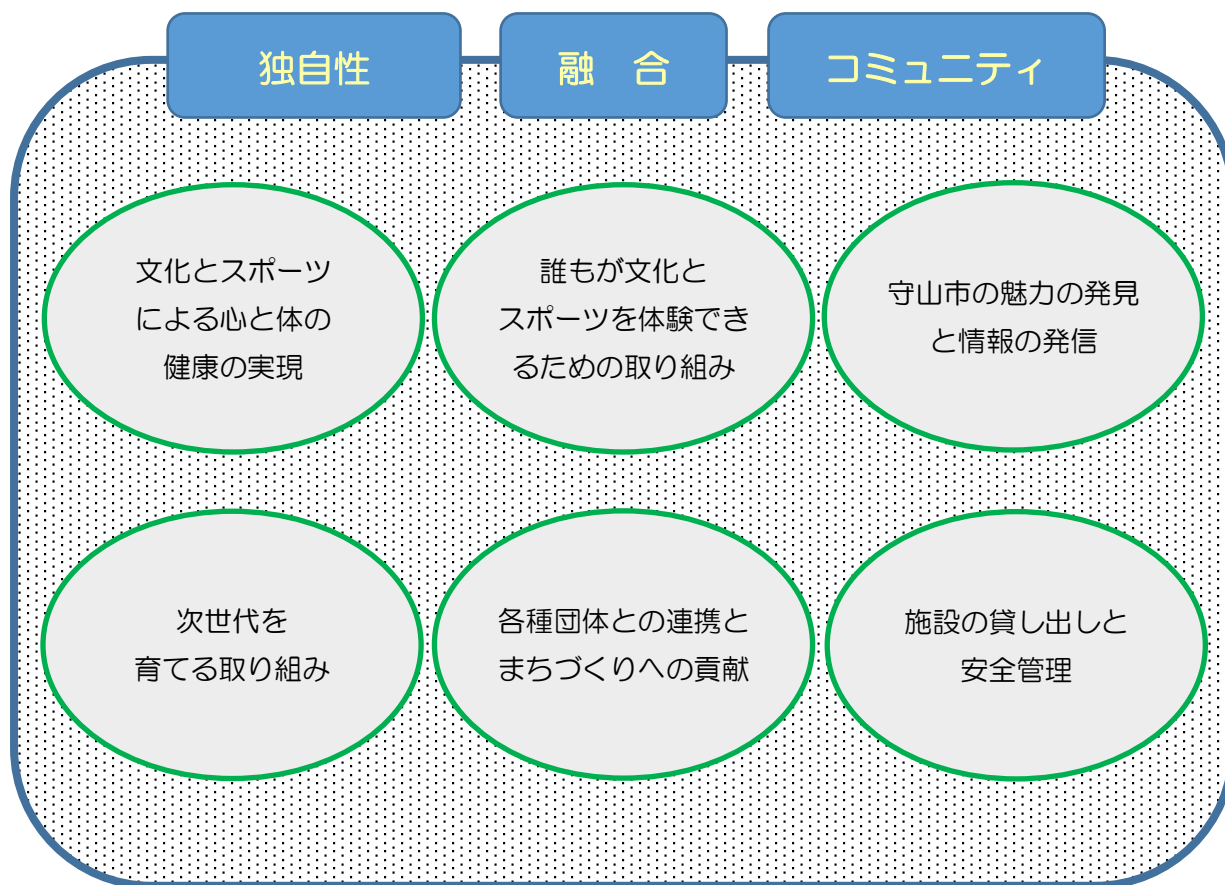
○メインテーマ

文化・スポーツで、人々の心と体に健康を！

○3つの基本理念



○6つの重点施策



計画達成ピラミッド

文化・スポーツで、人々の心と体に健康を！

メイン
テーマ

第5次守山市総合計画

「わ」で輝かせよう

ふるさと守山 の実現

(守山市文化振興アクションプラン)

(第3期守山市スポーツ推進計画)

3つの基本理念

独自性・融合・コミュニティ

6つの重点施策

☆計画の推進に向けて

- 計画の進行管理
- 組織体制と人材育成
- 寄付金の受け入れおよび自主財源の確保
- 社会経済情勢の変化への的確な対応と業務品質の向上
- 各施設の数値目標



3 重点施策

(1) 文化とスポーツによる心と体の健康の実現

現代社会が抱える様々な問題に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により人と人との分断されている状況が長く続いています。文化やスポーツには人の心を豊かにし、人と人をつなぐ力があり、心と体の健康づくりにつながる事業を各施設で行います。

<具体例>

【市民ホール・市民運動公園・ビッグレイク】

- ・もりやま市民カレッジにアスリートやスポーツ選手を講師に招き、講演と実演（スポーツ教室）を組み合わせたイベントの実施
- ・文化とスポーツ両面を持ち合わせる事業の実施
- ・MORIYAMA ダンスフェスティバルの実施

【市民ホール】

- ・市民の教養、知識、健康の向上につながる講演会の実施と、心の癒しとなる演奏会の実施
- ・もりやま市民カレッジ、ルシオール音楽塾、その他ルシオールクラシックシリーズ、キッズカレッジ、ほたる寄席などの実施

【市民運動公園・ビッグレイク】

- ・エクササイズクラブ、太極拳クラブ、健康体操、フィットネス体験など、基礎体力の強化を通じた健康寿命を増進する事業を実施

【市民運動公園・ビッグレイク・諏訪家屋敷】

- ・市民運動公園、諏訪家屋敷などにおける季節の移り変わりや自然の状況などを SNS 等で発信し適度な運動（散歩）などの身体活動を促進する活動を実施
- ・星空観測教室、凧揚げ教室、半夏生鑑賞会、門松作り講習会など施設の特色を活かした事業の実施

(2) 誰もが文化とスポーツを体験できるための取り組み

文化とスポーツは、誰もが体験し、楽しめるものですが、きっかけがないため参加できない人たちが多くいます。さまざまな工夫をし、独自の企画を加え、誰もが気軽に足を運べる施設を実現します。

また、現役世代、シニア世代、子ども・若者、障害者、外国人、生活困窮者など様々な事情で社会生活上の困難を抱える人たちも含め、文化やスポーツを楽しめる環境づくりを行います。

<具体例>

【市民ホール】

- ・ルシオール アート キッズフェスティバル、ルシオール AKF 秋色、乳幼児も入場できるコンサート、子どもと保護者が楽しめるワークショップの実施
- ・もりやま市民カレッジ、鑑賞無料のロビーコンサート、ニューミュージック公演など





の実施

- ・親子で楽しめるクッキングや生きがいとなる趣味を創出する文化教室の実施
- ・ルシオール AKF 秋色での参加無料の伝統文化こども体験教室などの実施
- ・鑑賞無料のアウトリーチ事業の実施
- ・県内児童養護施設への公演の招待
- ・もりやま市民カレッジ、ルシオール音楽塾、旅への誘いコンサートのなどの実施
- ・滋賀県障害者文化芸術活動の推進

【市民運動公園・ビッグレイク】

- ・家族ふれあいスポーツデー、ふれあいグラウンド・ゴルフ、エンジョイ！スポーツタイム、キッズスポーツタイムなどの開放事業の実施
- ・各種年代に応じたスポーツ教室の実施
- ・健康体操や太極拳などの高齢者も関心の高く参加しやすい事業の実施
- ・パラリンピック種目体験教室などの実施

【諏訪家屋敷】

- ・親子で一緒に作れる門松作成教室（正月の飾り作成）などの実施
- ・パッチワーク、つまみ細工による手芸の手しごと教室、味噌づくり体験教室、ランプシェード作成教室、竹灯籠を作成し作品展示などの実施

【市民ホール・市民運動公園・ビッグレイク・諏訪家屋敷】

- ・国際交流協会と連携を行い、日本の伝統文化の発信や、異国文化交流やスポーツの交流などの実施

(3) 守山市の魅力の発見と情報の発信

守山市は、ホテルに代表されるように水と緑の自然や豊かな歴史文化を持つまちなので、これらの資産を活かした事業を行います。

また、スマートフォンなどの情報機器の発展や普及に即応して、的確な情報の発信に努めます。

＜具体例＞

【市民ホール・市民運動公園・ビッグレイク・諏訪家屋敷】

- ・ホームページの充実、SNS や守山市広報を活用した情報発信

【市民ホール】

- ・守山市の歴史文化、地域資源の活用と情報発信および関係機関と連携した守山の魅力を伝えられるイベントの実施
- ・旅への誘いコンサート、地元アーティストの演奏会などの実施

【市民運動公園・ビッグレイク】

- ・地元出身スポーツ選手との交流や教室の開催などの実施

【諏訪家屋敷】

- ・諏訪家の歴史などの講演会、講座、セミナーなどの実施





- ・守山市教育委員会事務局文化財保護課と連携し、諏訪家関係資料の展示や古文書の展示、半夏生鑑賞会などの実施

(4) 次世代を育てる取り組み

未来の守山を担う子どもたちが、本物の文化芸術や創造活動に参加し、また様々なスポーツに触れることで多くの感動体験や健康・体力を向上させる機会を得て、感受性豊かで克己心を備えた人間として成長する手助けとなる活動を行います。

また、これからの文化とスポーツの担い手となる子どもたちを育てる事業を積極的に行います。

<具体例>

【市民ホール】

- ・ルシオール アート キッズフェスティバル、もりやま Kids カレッジ、ルシオール AKF 秋色などの鑑賞型・体験型事業の実施
- ・ルシオール街かどコンサート、出張ほたる寄席などのアウトリーチ事業の実施
- ・地元の若手アーティストの発掘と支援

【市民運動公園・ビッグレイク】

- ・スポーツ体験教室、Sports Dream 事業などの体験型事業の実施
- ・プロバスケットボールBリーグ、プロ野球独立リーグBCリーグなどの観戦型事業の実施
- ・地元出身のプロスポーツ選手の教室の実施および交流
- ・スポーツ活動を行う若者への活動支援

【諏訪家屋敷】

- ・市内の子どもたちへの伝統的なモノづくり体験や昔の生活体験、茶道体験事業、ホテル学習会など子ども体験（学校教育啓発）事業の実施

(5) 各種団体との連携とまちづくりへの貢献

守山市文化協会などの市内文化団体、守山市スポーツ協会などのスポーツ団体、行政、自治会、守山商工会議所などの市内外の企業や地域をはじめ、産業や観光、教育、福祉、医療、環境、国際交流などの団体と連携し、住みやすさ日本一を目指す守山市のまちづくり活動に参画し、事業団が持つノウハウを提供し、ともに支えあう地域社会の実現に貢献します。

<具体例>

【市民ホール・市民運動公園・ビッグレイク・諏訪家屋敷】

- ・地域、市民、文化スポーツ団体の活動支援
- ・まちづくり活動の一環として開催される様々な行事やイベントへの積極的な関与
- ・地域の行事やイベント、学校行事に提供できる様々なプログラムを提案し、市民自らがスポーツを通じて健康づくり、仲間づくりができる環境整備の支援





- ・身近で健康づくりを体験できるアウトリーチ事業（出前講座）などの実施
- ・プロスポーツチームとのタイアップ事業の実施

(6) 施設の貸し出しと安全管理

事業団が管理運営している施設は、守山市民の貴重な財産であり、これを万全な安全管理のもと、市民に利用していただくことが事業団の責務です。あわせて専門的知識を有する職員が、経験をもとに利用者に充実したサービスの提供を行います。

また、職員に対して定期的に、消防訓練や救命救急の講習を実施することにより、緊急時に円滑に適正な対応を行うとともに、施設ごとに定めている危機管理マニュアルを遵守し、日常の施設利用者が安全で安心して利用が出来る管理運営を行います。

＜具体例＞

【市民ホール・市民運動公園・ビッグレイク・諏訪家屋敷】

- ・敷居の高さを感じることなく気軽に利用できる施設として、専門スタッフが全面的にサポートできる環境の提供
- ・利用者のニーズを的確に把握した付帯設備の新設、更新
- ・日常点検、定期点検による早急な問題点の把握および改善
- ・守山市との連携を密にした施設設備の安心・安全の確保、市民サービスの向上および改修や改善についての積極的な協力
- ・公共施設予約システムによる利用者の利便性向上および不慣れな方への丁寧なサポート

IV 収支計画

収入面においては、質の高い事業を継続して実施するため、また、自主・自立的な持続性ある財団運営を推進するため、施設使用料収入や自主事業収入をはじめ、各種補助金や会費収入等を積極的に確保します。また、公益財団法人の税制優遇を活かし、寄付を利用した事業創設など、企業や市民から援助を募る方法も検討します。

支出面においては、質の高い事業の継続のため、事業の選択と検証を徹底するとともに、事業費、施設管理運営費などすべての経費の見直しを行い、より広く市民が満足できる事業展開を行える収支体質としていきます。

なお、開館周年にあたる年度には、自主事業を拡大し積極的に市民へアピールする事業を計画するとともに、周年事業積立資産（特定費用準備資金）を積立てします。

上記の重点的な取り組みの実施に必要な人員、予算の精査と優先順位の導入を図り、事業実施についてもすべての経費について効率化を検証し収支体質の強化を図ります。





＜収入＞

(単位：千円)

区分	内訳	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
指定管理料 ※1		222,455	222,455	222,455	222,455	222,455
施設使用料収入		96,020	101,020	110,520	111,020	111,770
自主事業収入		91,566	91,566	90,343	90,443	91,295
その他収入		30,549	29,844	29,751	30,789	36,879
	雑収入など	27,629	27,904	27,791	27,809	27,879
	寄付金・補助金収入	1,920	1,940	1,960	1,980	2,000
	特定費用準備資金戻入 ※2	1,000	0	0	1,000	7,000
収入 計		440,590	444,885	453,069	454,707	462,399

＜支出＞

区分	内訳	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
管理費		301,524	304,055	311,832	314,450	317,612
	人件費	148,884	151,415	153,989	156,607	159,269
	その他管理費	152,640	152,640	157,843	157,843	158,343
自主事業費		123,927	123,146	122,556	123,056	129,556
その他支出		15,139	17,684	18,681	17,201	15,231
	その他	15,139	15,184	15,181	15,201	15,231
	特定費用準備資金繰入 ※2	0	2,500	3,500	2,000	0
支出 計		440,590	444,885	453,069	454,707	462,399
収支差額		0	0	0	0	0

指定管理期間スケジュール	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
市民ホール、運動公園、諏訪家	■■■■■				
ビッグレイク	■■■■■				

令和 4 年度予算を参考に計上。

※ 1 指定管理期間外の令和 6 年度から令和 8 年度までの指定管理料は、現行金額としています。

※ 2 各施設の周年記念事業については、市民ホールと運動公園は 5 年ごとに、ビッグレイクと諏訪家は 10 年ごとに実施を計画し予算策定しています。

令和 4 年度 市民体育館開館 45 周年

令和 7 年度 ビッグレイク開館 20 周年

令和 8 年度 市民ホール開館 40 周年

令和 10 年度 諏訪家開館 10 周年（第 2 期中期経営計画の範囲外）





V 計画の推進に向けて

1 計画の進行管理

中期経営計画の進捗状況を毎年度把握し、随時理事会に進捗状況を報告します。計画期間中に、新たな環境の変化や課題が明らかになってきたときや、目標値の新設、改変を行う必要が生じたときは、適宜計画を見直すこととします。成果や目標の達成状況を把握し、結果の如何にかかわらずその理由を究明し、目標達成に向けた取り組みに反映させます。

また、本計画は、毎年度の事業計画策定に資するため一定期間を見据え取りまとめるものですが、社会状況など事業団を巡る環境の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行い、効果的な推進に努めます。

2 組織体制と人材育成

組織体制については、事業団の設立目的を達成する為に事業計画進捗状況を確認しながら人員の見直しを行います。また、将来にわたっての職員の年齢構成等を考慮しながら、採用や配置等を行います。

人材育成については、接遇や文化芸術およびスポーツに関する専門的な研修をはじめ、各種ハラスメントに関する研修、人権研修など幅広い研修を対象とし、職員の資質向上に努めます。

また、優秀な人材については適正な評価を行い、やりがいのある職場環境の整備を進めます。

3 寄付金の受け入れおよび自主財源の確保

事業団では、使用料収入や自主事業収入により、圏域住民に出来るだけ多くの文化芸術鑑賞機会や、スポーツに参加体験できる機会の提供を行っていますが、自治体の財政難に加え、老朽化する施設の維持管理費の増大、または新型コロナウイルス感染症の影響により、事業団経営は益々厳しさを増す状況にあります。

そのような中でも、文化・スポーツの振興に寄与するため、国からの補助金や各種民間助成財団の支援・助成を積極的に活用した運営を行います。また、公益財団法人に対する寄付金に係る税制上の優遇措置を広く一般に周知し、寄付金募集制度を作り、企業や個人より積極的に寄付を募るとともに、寄付金を活用した事業を実施します。

4 社会経済情勢の変化への的確な対応と業務品質の向上

新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとした社会経済情勢の変化が急激であり、それらに的確に対応するとともに、必要な場合は助成金の確保に努めます。また、各部署においてサービス業として必要なスキルアップを行い、作業効率の向上やコスト削減の意識を持ち、事業団の安定的な経営に貢献します。





5 各施設の数値目標

施設名	市民ホール		市民運動公園		ビッグレイク		諏訪家屋敷	
利用者数 入場者数	前	115,000 人	前	120,000 人	前	100,000 人	前	1,820 人
	中	230,000 人	中	200,000 人	中	115,000 人	中	2,700 人
	後	265,000 人	後	213,000 人	後	120,000 人	後	3,200 人
自主事業 参加人数	前	30,000 人	前	10,000 人	前	2,000 人	前	2,320 人
	中	60,000 人	中	20,000 人	中	3,500 人	中	2,720 人
	後	65,000 人	後	28,000 人	後	4,500 人	後	2,850 人
施設利用率	前	50%以上	前	60%以上	前	80%以上	前	4.0%以上
	中	70%以上	中	70%以上	中	82%以上	中	4.4%以上
	後	85%以上	後	75%以上	後	85%以上	後	4.8%以上

※ 前期・令和4年度、中期・令和6年度、後期・令和8年度の数値目標となります。

※ 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものと想定した数値です。
令和6年度と令和8年度については、コロナの影響から回復していると想定した目標としています。

コロナ禍においてそれぞれの施設で減少した人々を呼び戻し、いずれ大勢の賑わいが戻る日を信じて、魅力あふれる事業団活動を行ってまいります。

